

消 防 学 校 だ よ り

令和6年 7 月号

発行年月日 令和 6 年 7 月 31 日
発 行 宮 崎 県 消 防 学 校

救助科（水難救助訓練）

7 月 1 日(月)・2 日(火)で水難救助訓練を行いました。1 日目は本校プールにてシュノーケリングやフィンワーク等の取扱いを行い、段階的に水面での移動や水面への進入、脱出訓練を行いました。2 日目は、グリートダイバーズからマスターインストラクターの 福田 道喜氏に講師に来ていただき宮崎海洋高校潜水プールで潜水訓練を実施しました。

3 点セット取扱い



潜水訓練



救助科（国際消防救助隊）

7 月 3 日(水)、令和 5 年 2 月 6 日に発生した、トルコ・シリア大地震へ国際緊急援助隊の一員として派遣された、宮崎市消防局 一井 亮太消防司令補から、国際消防救助隊の活動について講話していただきました。

講話では、国際消防救助隊登録隊員が、日々どのような訓練を実施しているのか、国際緊急援助隊の組織体制等、概要の講話の後、トルコ共和国地震での発災から派遣隊員の招集・派遣まで、現地での活動状況など、現地に派遣された者だから分かる苦悩や大変さを伝えてくださいました。



救助科（海上保安庁の災害対策）

7 月 4 日（木）、第十管区海上保安本部、鹿児島航空基地、宮崎海上保安部から海上保安官に来ていただき、海上保安庁の災害対策について講義をしていただきました。

他組織の体制や活動内容を理解するとともに、災害時には相互協力し、柔軟に対応することが防災関係機関には求められます。

地域と住民を守るという共通目的のため、今後とも協力体制を継続したいと思います。



救助科（航空消防）

7 月 5 日（金）、県防災救急航空隊 窪田 勇一郎隊長から、航空消防について講義していただきました。

本県の防災ヘリ運用体制や、今後更新する機体について等航空消防活動、要請時のポイントを交え航空消防事情について話していただきました。救助科学生の中には、防災救急航空隊員を目指す者もあり、とても有意義な講義となりました。



救助科（ブリーチング訓練）

7月5日（金）、震災対応訓練事前訓練としてブリーチング訓練を実施しました。

本県は、南海トラフを震源域とする巨大地震が発生した場合、甚大な被害を受ける事が想定されており、倒壊家屋等からの迅速な人命救助活動が求められます。迅速な活動が出来るよう技術の習得を行いました。



救助科（USAR）

7月8日（月）、宮崎市北消防署東分署にて高度救助隊から USAR とは何なのか、個人装備はどのようなものなのか、求められるスキルは・・・等の講義と技術指導を終日実施していただきました。

また、全ての活動に3Sが必須である事、我々がプロとして消防救助に従事している以上、安全・確実な活動を圧倒的な速さをもって遂行できなければならない事を学びました。



救助科（災害救助犬）

7月9日（火）、NPO 法人 SEARCH DOG 人吉の方々に講師として来ていただき、災害救助犬について講義を受けました。震災時、人の何倍もの嗅覚を活用し要救助者の捜索に大きな力を発揮してくれます。災害救助犬の能力と捜索時の救助犬への対応を学びました。



救助科（ドローン研修）

7月9日（火）、ドローン運用について、ライフクリエイト宮崎 新原 一容講師、ドローンアドバイザー 宮崎市消防局 藤野 寿消防司令から講義していただきました。飛行に関する手続きや法令関係の講義と、重さ約 40Kg の資器材搬送ができる大型ドローンの展示飛行がありました。



救助科（震災対応訓練）

7月10日（水）、南海トラフ巨大地震が発生した想定で、震災対応訓練を実施しました。

発災から初動活動、要救助者救出完了までの訓練を行いました。倒壊家屋等で行う人命検索や救助活動の技術を確認するとともに、長時間の活動が自らに及ぼす影響（集中力の低下や肉体疲労）を体感し、有事の際にどう活動するか訓練しました。



救助科（学生企画訓練）

7月11日（木）、救助科課程の訓練総括として、学生企画訓練を実施しました。訓練計画、安全管理、実施場所選定、想定付与並びに振り返りの全てを学生主体で実施しました。各隊、低所救助や重量物排除を実施しました。



第35期救助科は、7月12日（金）全てのカリキュラムを修了しました。

初任科（車輛破壊）

7月2日（火）、帝国繊維株式会社、LUKAS JAPAN から講師に来ていただき、LUKAS の救助資器材を使用しての車輛破壊訓練を行いました。様々な資器材を使用して自動車破壊出来た事は、初任科生にとって、とても良い経験となりました。



初任科（消防活動訓練）

7月5日（金）、小型ポンプ操作を行いました。初任科生もようやく各番員の動きを理解し、消防操法らしい訓練が出来るようになりました。



初任科（渡過ロープ設定）

屋外での本格的な救助訓練実施を前に、渡過ロープ設定及びセーラー渡過、モンキー渡過の訓練を屋内訓練場内で実施しました。これまで学んだロープ基本結索の重要性を学びました。



初任科（視察研修）

7月17日（水）、18日（木）の2日間で関東地方に視察研修に行きました。

1日目は、東京都の消防博物館並びに東京消防庁第六方面本部消防救助機動部隊の視察を行い、本県にはない車輛など様々な資器材等について説明を受けました。

2日目は、千葉県消防学校で行われた消防救助技術関東地区指導会を視察しました。普段とは違う環境の中で過ごした2日間は良い経験になりました。



初任科（応急はしご訓練）

三連はしごを使用した訓練を、屋外の狭隘な場所や足場が不安定な場所で行うとともに、はしごクレーン訓練を屋内訓練場内で実施しました。

活動環境が変わっても、これまで訓練してきた基本を守り行動すれば、その環境に合わせた活動が出来る事を確認できました。



8月の主な行事

- 初任科生実務研修
- 第40回宮崎県消防操法大会
- 無線資格取得講習

8月 5日（月）から10日（土）まで

8月24日（土）

8月29日（木）

宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp